

在インド日本国大使館「海外安全対策情報」
平成25年度第4四半期（2014年1月～3月）

インドの治安、一般犯罪傾向に関する情報です。安全対策等を講じる際の参考にしてください。

1 社会・治安情勢

インドでは、宗教対立や多民族といった複雑な国内事情から、常に潜在的なテロの脅威が存在しています。日常生活においてもテロの標的となるような危険な場所にてできる限り近づかない、多数の人が集まる場所では警戒する、公共交通機関の利用や繁華街等への外出の際は周囲の状況に注意を払う等、安全を心掛ける必要があります。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 当館所在地のデリーでは、人口集中、貧富差の拡大などを背景として、一般犯罪が増加傾向にあります。殺人、強盗、強姦等の凶悪事件も多発しており、性犯罪被害は連日のように報道されています。邦人の強姦被害は発生していませんが、外国人女性が被害に遭った事案が報道されています。

(2) デリー市内、ウツタルプラデシュ州のアグラやバラナシ、ラジャスターン州ジャイプールなどの観光地では、短期邦人旅行者が列車内や駅周辺、繁華街、安宿街（デリー駅前のパハルガンジのメイン・バザールなど）において、スリ（3件）・置き引き（1件）、睡眠薬強盗（1件）に遭う事案が発生しています。

(3) 短期邦人旅行者が、インディラ・ガンジー国際空港から乗車したタクシーの運転手に悪質な旅行会社へ連れて行かれ、高額なツアーを組まされる等の被害に遭う事案（9件）が引き続き発生（前年度同期8件）しています。深夜のタクシー利用で被害に遭う事案が多いことから、特に深夜の移動には、宿泊先ホテルや信頼できる旅行会社等を通じた確実な移動手段の確保が必要です。

（注）上記事件の件数は、被害に遭われた邦人の方から当館に報告があった件数です。

3 テロ・爆弾事件発生状況

邦人が巻き込まれたテロ事件の発生はありません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件発生はありません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業がターゲットにされた事案及び関連情報はありますが、ストライキの発生が報告されています。

6 インドへの旅行、滞在に関する安全情報を掲載していますので、ご参照ください。

○ インドを旅行される皆様へ

http://www.in.emb-japan.go.jp/Japanese/ConsularSection/Consular_Section08_21.html

○ 在留邦人安全対策マニュアル

<http://www.in.emb-japan.go.jp/Japanese/ConsularSection/manual2013.pdf>

○ 外務省海外安全ホームページ（インド）

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo.asp?id=001#ad-image-0>